

## 議 事 録

会議名	文書館運営審議会		
日 時	平成25年1月25日(金)13:30～15:30	開催形態	公開
場 所	寒川総合図書館 3階会議室		
出席者	委員：木村会長、小川副会長、海老根委員、大川委員、野村委員、 江川委員 欠席：徳力委員 事務局：小島館長、高木副主幹 傍聴者：なし		
議 題	(1) 平成24年度事業中間報告について (2) 平成25年度事業計画について (3) その他		
決定事項	(1) 平成24年度寒川文書館中間報告の承認 (2) 平成25年度寒川文書館事業計画の承認		
議 事	<p><b>(1)平成24年度寒川文書館中間結果報告について</b></p> <p>平成24年12月末現在の事業進捗状況について、事務局より報告した。これに対し、次のような質問、意見があった。</p> <p>○講座資料代の設定根拠を説明してほしい。</p> <p>▼1回平均10枚程度のレジュメを用意することを想定して、1回100円で計算している。そのため、古文書講座は6回で600円、中世史講座は4回で400円を徴収している。</p> <p>○来館者の人数はこの何年かは1日平均で40人から50人で推移しており、安定してきたと見られるが、実際の傾向はどうか。</p> <p>▼いつも資料を閲覧に来るリピーターもいれば、質問のある時だけ、あるいは興味のある展示の時だけ来館してその後は来ないという人もいて、利用者のニーズによってまちまちである。</p> <p>○寄託された入沢章家文書の点数が3,649点と膨大だが、全部近世文書なのか。</p> <p>▼近世文書に加え、明治、大正、昭和の資料、刊本が含まれている。袋に複数の資料が入っている場合は枝番号を付しているが、それを別に数えると約6,000点となる。なお、絵はがきは返却しており、この数には含まれない。</p>		

	<p>○平成 24 年 6 月のコピー代収入が突出しているが、その要因は何か。  ▼海外在住の日本人研究者が一時帰国中に高室院文書を大量に閲覧したためである。</p> <p><b>(2)平成 25 年度寒川文書館事業計画について</b>  例年の場合、10 月または 11 月に審議会を開き、その意見を反映して予算編成に臨んでいたが、予算査定の過程で実施できなくなったものも生じるため、年度初めの審議会でも修正した事業計画を改めて審議していただいていた。これでは効率が良くないため、予算査定の方向が見えてきた今の時期に事業計画を決定していただくよう 25 年度から改めたい。その趣旨のもと、事務局より内容を説明した。これに対し、次のような質問、意見があった。</p> <p>○ミニ展示の内容をまとめて記録に残してほしい。  ▼ホームページに「ギャラリー」というコーナーがあり、企画展の記録を載せているので、ミニ展示もここで内容を紹介することにしたい。</p> <p>○調べ学習などにおける学校との連携については、事前にアポイントをとってもらうなどの対応を校長会で申し合わせているが、実際の運用はどうか。  ▼現場の先生から直接連絡をいただくことはほとんどなく、生徒が直接来館するケースが多い。文書館側からも、小学校の施設見学のおりに、調べ学習の際の事前連絡について先生にお願いしてはいるが、さらなる徹底をお願いしたい。</p> <p>○非常勤職員の賃金の予算要求をして認められなかったとのことだが、施設は人によって活かされるものである。人の手当が十分でなければ、いつも同じような事業展開になってしまい、当面の課題である公文書管理法への対応も、ボランティアに関する新たな展開も、あまり進まない。調査研究も本来ならもっと進めるべきである。そのためにも平成 26 年度はぜひ増員をお願いしたい。  ▼上層部も必要性は理解しているので、可能な限り推進していきたい。</p> <p><b>(3)その他</b>  ○議事録の署名委員を互選し、海老根委員となった。</p>
資 料	
事録承認委員及び議事録確定年月日	<p>海老根 照子</p> <p style="text-align: right;">平成 25 年 2 月 6 日確定</p>